

CN ニュースレター

発行日:令和7年11月25日

発行元:菊川市立総合病院

看護部:認定看護師会

令和7年度 地域のみなさまと学ぶ会 第6回を11月11日に開催いたしました。

今回のテーマ

『患者さん・家族の思いをくみ取った、糖尿病治療へのアプローチ』

糖尿病患者さんは、医療者との会話の中で自分の問題意識を高め、何をすればよいかということを自分で決めて行動することが、大事になります。

慢性疾患の患者さんへの関わりとして、「一緒に学ぶ支援」や

「自己効力を高めるアプローチ法」などを学び、グループワークでは事例をもとに交流しながら、患者さんのできている所に視点をおいてディスカッションを行ないました。

参加者の方から「今までの支援が間違っていたなと思った答え合せができました。」「とても福祉、介護に通じるものがあると感じた。」「良いところを探すことで見方がこんなに変わると、びっくりしました。」とのご感想もいただきました。

今年多くの方に参加していただき、相談し合い、一緒に学ぶことができました。認定看護師一同御礼申し上げます。



©菊川市

I 糖尿病患者にはセルフケア能力を高めるかかわり方を

1.患者教育の変遷: 「指導」から「援助」へ
慢性疾患の患者さんに対して有効的
主体は患者さんである「指導する」ではなく「一緒に学ぶ」の関係
糖尿病という慢性疾患の患者さんへは、セルフケアマネジメント
能力を身につけてもらうことが大事

【患者・患者家族】 分かってはいるけど、どうしていいかわからない。
【看護師】 一緒に考えさせてください
【ケアマネジャー】 私達もっと関わることができるかもしません

【ステップバイステップでの技術習得、行動変容】
①周りの人に助けてもらしながら少しづつ段階を踏んでいく
まず学習されるべき技術や行動を明確にし、そこに至るステップを
細かく分割するということ
②できた行動に対してほめるなどして、その行動を「強化」していく
ことが有効な支援方法
③「強化」はタイミングが大事
・ただちにほめる
・一貫した評価
・技術や行動が定着し継続できる
ようにしていく

5. ケアリングについて考える
ケアする人が対象者に深い关心を寄せ、真のケアについて考える
「自分自身が良いと感じること」から、
「ケアされる人が良いと感じること」へと
関心の軸を移すこと。

延べ81名(院外:68名、
院内:13名)の方にご参加
いただきました。

「地域のみなさまと学ぶ会」では、地域の医療・介護を支える多くの方との新たな出会いがあります。この出会いは、体験できない多くの経験を伺う学びの機会になっています。繋がることで得られる信頼は地域の財産です。みなさまのご参加をお待ちしております。